

2021年度報告書
宿泊機能をもつ
WAKUWAKUホーム事業



認定NPO法人

豊島子ども

WAKUWAKU

ネットワーク



目次

- 03 はじめに
- 04 WAKUWAKUホームとは
- 05 利用者数及び、内訳
- 06 WAKUWAKUホームのスタッフより
- 07 Aさんのこと
- 08 WAKUWAKUホームギャラリー
- 10 WAKUWAKUホームについて、利用する子どもたちへのアンケート
- 12 イベント報告
- 15 おわりに

はじめに

2021年4月もコロナと共に始まった。

いつ終わるとも分からない中、学校が休校になることはもうなかった。

多くの子ども食堂が対面での食事を控える中、ホームはやり続けることを選んだ。

子どもたちは日々、成長していく。

ホームを必要としている子どもや親子がいる。

ある日ある時、ホームで子どもと子どもが、或いは子どもとおとなが会う。

偶然なのか必然なのか・・・

その出会いから生まれるものがある。人生を変えることもある。

「居場所」があることは、確実に暮らしを豊かなものにする。

そこに集う誰もが安心していられる「居場所」でありたいと思う。



WAKUWAKUホーム管理人 天野 敬子

※本事業は、日本財団から助成を受けて運営しています。



WAKUWAKUホームとは

宿泊機能をもつ子どもの居場所。利用料は無料である。貧困、疾病、障害、その他さまざまな理由から養育困難に陥る家族が地域に少なくない。市町村の対応窓口においても、児童相談所においても、全国的に児童虐待相談件数は増加の一途をたどっている。対応件数が増えてくると、重篤なケースを優先せざるを得なくなり、予防的介入はしにくくなる。

一方で、調子の悪い時にちょっと支えてくれる人がいれば、ちょっと預かってくれるところがあれば、危機を乗り越えていける家族もある。子どもを住み慣れた地域から引き離すことなく、安全に、地域で見守り育てていくために、地域住民にできることを提供するのがWAKUWAKUホームである。地域住民主体のNPOが、すべての子どものwellbeingをめざして、支援機関と連携しながら、貧困・虐待の連鎖を断つために活動している。

宿泊機能

急な出張、緊急入院、今日は鬱で動けない、そんなさまざまな保護者の事情に応じて、柔軟に宿泊対応をしている。家に帰りたくないやってくる子どももいれば、子どもと距離をとりたいという親もいる。必ず保護者の了承のもとにお預かりしている。

居場所機能

火曜日から土曜日までは、ホームをオープンにしている、地域の子もたちが遊びに来る。サポートしてくれる学生ボランティアや地域のボランティアさんがいる。

相談機能

子どもと保護者の相談に随時応じている。

玄関。開けるとすぐに上へとあがる階段があります。

1F

洗面所
風呂
洗濯機
トイレ
キッチン
8畳
押入れ
玄関
ベランダ

2F

トイレ
8畳
プライベートルーム
押入れ
6畳
台所
リビング
ベランダ

キッチン。みんなで楽しくご飯を食べる場所です。

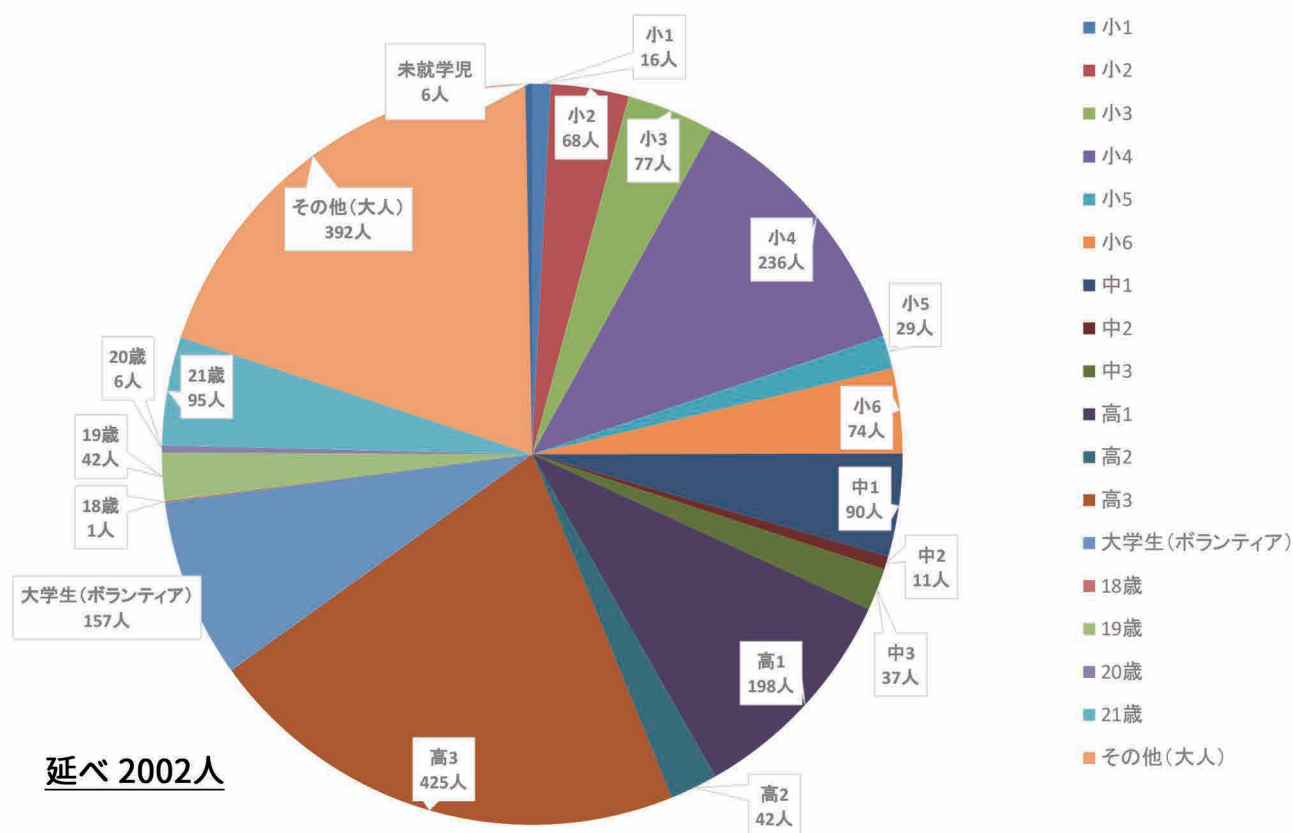
2階に宿泊用の部屋が2つあります。勉強もできるように机と椅子が置いてあります。

1階リビング(共有スペース)。玄関を開けるとすぐのお部屋です。天井には、子どもたちが描いた絵が飾ってあります。

2階リビング(共有スペース)ソファもあるので、みんなで座ってテレビを観たりくつろげる場所です。

WAKUWAKUホームの入り口の扉。

年間利用者数(宿泊者数、子ども食堂等の参加人数を除く)



月別宿泊利用人数

延べ 210泊

4月	5月	6月	7月	8月	9月
4人 (10泊)	6人 (10泊)	3人 (23泊)	3人 (36泊)	4人 (45泊)	5人 (36泊)
10月	11月	12月	1月	2月	3月
3人 (4泊)	2人 (2泊)	1人 (7泊)	1人 (2泊)	1人 (1泊)	4人 (34泊)

WAKUWAKUホームで行っているグループ活動

シンママおしゃべり会(奇数月の第二日曜日)

シングルマザーさんが集まって、気楽におしゃべりをしています。シンママ同士だからこそ共感できることがたくさんあります。毎回4~5名程参加。

不登校の親の会(偶数月の第二日曜日)

共通の悩みをもつ者どうしなので、共感的受容的にお互いの話を聴くことができ、エンパワメントされて帰っていかれます。毎回4~5名程参加。

WAKUWAKUホームのスタッフより

水島 政行(金、土曜 勤務)

ホームに関わるようになって、5年程になりますが、中学2、3年生あたりからホームに定期的に来ていた子が、今年度で高校を卒業します。高校に進学したときに成長したなあと感じたものの、いつも通りにホームに来ていたので、大きな変化はなく永遠に続く日常だと思っていました。



しかし、その日常にも終わりがあります。この終わりは悲しい終わりではなく新たな人生へ向けた前向きな終わりです。いままで、ホームで過ごした日常が、心のどこかに楽しい思い出として刻まれて、卒業する子がさらに成長して子どもに関わるようになったときに、自分自身が楽しかったことを、その子たちにしてあげるといふ循環が生まれれば嬉しいです。

それぞれの道へと進んでいく中で、色々なことが起こるでしょう。楽しいときはいいのですが、辛くてどうしようもないときもあるかと思います。そういうときには、ひとりで悩まず、ホームにふらっと寄って鬱憤を晴らしてもらいたいです。

卒業する子たちとは、一緒にゲームをしたり、ご飯を食べたり、ときにお手伝いをしてくれたりと、様々な日常を共有しました。思い返せば、笑って過ごしたことしかなかったです。また、子どもたちの成長に関われることで、身長は伸びませんが私の心の成長は計り知れないものがありました。この場を借りて、ありがとうございました。

石川 歩(火、水、木曜 勤務)

コロナの感染が広がる中で、それでも1年間日々居場所を開け続けること距離をとり、十分に対策をとりながら、それでも子どもたちと食事を囲み続けること”不要不急”という言葉が当たり前に使われる世の中で、この営みが不要でも不急でもないという確信を持って、スタッフ自身のリスクも引き受けながら日々ホームに入る。



勉強(宿題/日本語)のサポートの必要、栄養ある食事の必要…

そしてそんなはっきりとした必要だけでなく、子どもたちが人間として育つうえでの必要が、ここにはあると思っている。普段明るくふるまう高校生の男の子が帰り道でふと、”理由はわからないけど1週間学校に行けてなくて”とこぼしてくれて、不安をわかちあう。その後彼は休むことにも意味を見つけながらまた普段通りに戻っていった。

以前はケンカになると言葉ではなく手足が出ていた2年生と3年生が、”私はこれが嫌だった”、”僕はこう思った”、”じゃあこうしてよ”と、対話ができるようになった。対話ができることは平和の基礎だ。

安心できる関係の中で自分の想いや不安を出していいと、頼っていいと思えること。

自分の想いを伝え相手のことをわかろうとすること。

いろんなことがあるけど人間っていいなと思えること。

そんなふう子どもたちが人間として育つための”今、ここ”にしかない、”急”ぎの”必要”があるのだと確信して、そんな願いをもって、今日もホームに子どもたちを迎え入れる。

Aさんのこと

昨年の3月に、Aさんのお母様から久しぶりにメールをいただき、WAKUWAKUホームにお越しになった。Aさんが中学に入学するときに、WAKUWAKU入学応援給付金をお渡ししたことからつながったご家庭だ。そのヒアリングの時にも、一番下の娘さんが難病であることをお話されていた。

難病の娘のドナーがあらわれたら、治療のために母子で入院することになる。コロナのため、いったん入院すると母も外出が許されない。そのときに、Aさんをあずかってもらうことは可能かという相談だった。Aさんはもうすぐ中学3年生になる。高校受験の大事な時期なので同じ中学に通って、高校受験にのぞみたい。幸い、WAKUWAKUホームからAさんの中学までは少し遠いが通えない距離ではなかった。入院時期は未定、入院期間は最短で4ヶ月程度、上手くいかないときは半年以上になる。「分かりました。お引き受けします」とお答えした。

5月になって、Aさんから入院日が決まったからお願いしたいということで、娘さんとお越しになった。「私、コミ障なんです」と言う割には、コミュニケーション上手な方だった。Aさんが使う部屋を見てもらうと、広い机を見て、勉強机がほしかったととても喜んでくれた。

中学校の進路説明会に参加し、担任の先生にご挨拶をした。たまたまWAKUWAKUホームのレギュラーメンバーのBさんが通っている高校を気に入り、Bさんという先輩から直接、さまざまな情報を得ることが出来た。2人とも絵を描くのが好きで、話もはずんだ。Bさんの存在によって、迷いなく進路を決めることが出来たのだ。Bさんに感謝！

治療は順調にすすみ10月始めに退院され、Aさんは家に帰っていった。約5か月。その間、塾にも通い、Aさんはよく頑張ったと思う。先日、第一志望の高校に合格したといううれしい知らせをもらった。



Aさんのお母様より頂いたLINEより

お陰様で特別推薦で合格しました。🙏🙏🙏🙏

色々なことが頭をよぎり泣きそうになりました。今もすごく嬉しいです。

昨日はお世話になった塾の先生にお礼に行きました。

本当に怒涛の毎日でしたがこれで少しは落ち着いて生活していけそうです。わたしは幼稚園始まったら4月からパートを再開する予定です。

天野さんにも天野さんの旦那様にも大変お世話になりありがとうございました。

また泣きそうです。😭

※ご本人の許可を得て掲載しております

みんなで、いろんな遊び!!

子どもたちが集まれば、いろんな遊びを考えてで大盛り上がり



クリスマス🎄や節分👹

季節ごとの行事もみんなで楽しめます!!



スイーツ作りやお絵描き

ゆうさん(天野:夫)と一緒にスイーツを作ったりお絵描きしたり♪



勉強したり、
工作したり
ゲームしたり



料理を食べたり、
作ったり、片づけたり
誕生日を祝ったり



それぞれが、 自由に過ごせる居場所

火、木は、主に小学生が利用し宿題や工作
ボードゲームなどをして遊び、
水、金、土は主に中高生が利用し、TVゲー
ムや勉強などをして自由に過ごしています。
どちらも一緒に夕食を食べて、宿泊する子
以外の小学生は20時まで、中高生は21時
まで利用可能です。





◎WAKUWAKU ホームはあなたにとってどんなところですか？

ホームと名前がついてるだけ
あって家での人びりしているような
感覚になるくらいな人なら家よりぐらぐら
過ごすことが出来るのでしても
リラックスできます。でも家ではないの
で勉強や友達とのゲームなど家では
できないようなことも出来る場でもおぼす。

◎WAKUWAKU ホームで印象に残っていることは何ですか？

「ご飯」と「ゲーム」です。「ご飯」はこども
食堂や友達と食事をしてる言記憶
が強いからです。「ゲーム」はいつも
ホームに来てご飯を食べる時間
になるまでゲームをしている言記憶
が強いからです。そして友達としか
してご飯を食べること」が印象に残っています。

高校3年生

◎WAKUWAKU ホームはあなたにとってどんなところですか？

一言で言うところ安心できる場所です。全員知っている人が、身内という訳では
無いので 適度な緊張感もありつつ、リラックス出来る場所です。
普段生活をしている時は 知り関わりないで いろいろたいの人の話やことが
出来ます。そして私は最近一人暮らしを始めたので、自然と人と話す機会が
減ってしまっています。なので、コミュニケーションを取れる場所としても
重宝しています。

◎WAKUWAKU ホームで印象に残っていることは何ですか？

最近のことだと、クリスマスのイベントが特に記憶に残っています。
ゴゴ福ということもあり、少人数で活動をしていたので、又し振りに会う人も
いました。縮小ははしたが、活動を休止すること無く、みんなが集まり、
美味しいご飯を食べることが出来るというの、特に喜ばしいことかなと思います。
また、また、2人でみんなが集まれる機会があれば良いですね。 高校3年生

◎WAKUWAKU ホームはあなたにとってどんなところですか？

色々な学年の子どもたちとおしゃべりできて、
普段の生活(大学での生活)とは違った
楽しさがある、私のサードプレイス・居場所
です。子どもたちが話してくれる学校の出来事
は面白い、子どもたちにたくさん元気をもらって
います。にぎやかな WAKUWAKU ホームに行く
ことがいつも楽しみです。

◎WAKUWAKU ホームで印象に残っていることは何ですか？

子どもたちと過ごす中で、みんなの創意工夫に
何度も驚かされ、印象的なことがたくさんあります。
WAKUWAKU ホームの空間を最大限に使って
紙風船でテニスをしたり、目隠し鬼ごっこしたりすること
あれば、押入れで怖い話をしたり。ダンボールやお菓子の
箱を使って車をつかったり、工作する様子を見る
のもとても面白く、印象的でした。 ボランティアスタッフ(大学院生)

◎WAKUWAKU ホームはあなたにとってどんなところですか？

僕にとっての WAKUWAKU ホーム は
第2の家みたいな所です。ホームの周りの
人は、大人や小学生中学生高校生がいて
家族とは違って年齢層とかも余り離れて
いなからたりするのでも仲良くなるのが簡単
だし、同じような趣味を持っている人にも
会えるような場所です。

◎WAKUWAKU ホームで印象に残っていることは何ですか？

WAKUWAKU ホームで印象に残って
いるのは僕が中学2年の時友達に誘われ
て、「プログラミングを体験してみよう!!」と
ないお事がありそれで初めて WAKUWAKU
ホームに来始めたのが一番印象に
残っています!! 高校3年生



◎WAKUWAKU ホームはあなたにとってどんなところですか？

。たくさんのお友達と仲良くしたり、いろんな人で、みんなの中に入れる。

みんながやさしくて、自分も「素」をだせる場所。

いろんなゲームをしたり、お勉強したりして、本当にいろんなことを知れる。差別なく、いろんな人と、関わることもできる。

コミュニケーションを取るの上手になる。外国の方でも、日本のことを知れる。日本語がわからなくて不安でさる。少し、他の国とはちがうところもあるけれど、「いたがきます。」と「ごちそうさま。」をみんなと、出来るしあわせを感じられるところがいいと思う。

◎WAKUWAKU ホームで印象に残っていることは何ですか？

初めてお会いした時も、ていねいに自己紹介をしてくれて、

みんながやさしい明るい人ばかり。このほの時の、気をつかい合ったり、今日「いただきます。」してやる人誰一人かなくて言ってるみんなが

手をあげてくれている。年関係なく、仲良くしてくれりお話をしてくる。年下の子どもたちを見て、ほほえまして、ゲームで、

いっしょに遊ぶの、楽しさを知れる。ホームの方も、子どもたちも時間を守って、生活、行動が出来る人がたくさんいる。

一番はみんなに対して、やさしく、同じように、関わってくれり
中学2年生

◎WAKUWAKU ホームはあなたにとってどんなところですか？

たのしい

みんながたのしい

たのしいところです。たのしい
うたがたのしい 😊 小学3年生

◎WAKUWAKU ホームはあなたにとってどんなところですか？

楽しい場所です。あそびが大好き

する事がたのしい 小学4年生

◎WAKUWAKU ホームはあなたにとってどんなところですか？

工作で色々な物を作。劇、本とみんなが遊んだり。

みんなで勉強したり、みんなでご飯を食べたりするのが楽しいです。 小学4年生

◎WAKUWAKU ホームはあなたにとってどんなところですか？

みんなでおそんたのしかたでたのしくあそび
きてたのしかたでたのしくあそび
だから私はちんちんとわてないです。漢字は
好きです。 小学5年生

◎WAKUWAKU ホームはあなたにとってどんなところですか？

i am happy to comming wakuwaku home ♡

When i can play with friend I am very happy ☺

When i write maths then iam very sad. ☹

People here are very funny ☺ 小学6年生



2021年10月23日、IKE・Biz多目的ホールで、「子どもの居場所」というイベントを開催いたしました。

子どもの権利を守る活動などに取り組む弁護士の山下敏雅さんをお招きし、子どもの人権と法律について事例を交えて分かりやすくご講演いただきました

また、WAKUWAKUホームの実践報告を行い、その際に、今年度に上智大学の学生が作成してくれた、WAKUWAKUホームの動画を上映しました。参加者は、総勢40名程集まりました。



山下 敏雅 弁護士

1978年高知県南国市生まれ。千葉市育ち。過労死・過労自殺事件、労災事件／子どもの事件（児童虐待、少年非行、学校災害、未成年後見等）／脱北者支援、北朝鮮による拉致被害者問題／セクシュアルマイノリティ支援、ゲイ・レズビアン（同性愛）、バイセクシュアル（両性愛）、トランスジェンダー・性同一性障害（性別違和）／HIV陽性者支援などに取り組んでいる

【参加者から頂いたアンケートの感想より】（アンケート回答者：31人）

イベントはいかかでしたか？：とても良かったが25人、良かったが6人

豊島区ショートステイ協力家庭をやってみたいと思いますか？：思う15人、思わない10人、無回答6人

・子どもの命は一人ひとり尊重されるべきなのに、なかなかそうならず丁寧なケアされていない子がいるなあと思いました。

また、WAKUWAKUホームや山下先生につながれた子たちが良かったなあと感じていたら涙が出ました。

・本日、WAKUWAKUホームの実態や里親制度等と合わせてきえたことで、より深く学ぶことが出来ました。WAKUWAKUホームのような活動は、本当に必要な活動で実践されていることを尊敬いたします。

・山下先生の「人権のお話」心に響きました!!「ひとりぼっちじゃない」という実感・居場所があるという大切さ。

・子どもの居場所をつくるにあたって、ただ子どもたちが集まる場所や空間を提供するだけではなく、子どもの話をきちんと聞いてくれる人や、子どもの思いや考えを受けれてくれる人が必要なのだと思いました。

・学校の中に「人権」という意識がない「先生たちの人権がまず守られていない」という山下先生の話がとても印象深く残りました。

・山下先生の、あなたは一人ぼっちではない居場所がある、それが人権という話は心に残りました。もっとお話し聞きたかったです。

・インフォーマルな子どもの居場所の存在、大事だと思います。

・ショートステイ、家族や部屋の広さといった問題はあるが、とても興味はある。

・第3の居場所があればいいなと思っていた1人だったので、このような活動をしている人がいるんだなと思うと安心しました。

・プチ家出が出来る場所、作ることが出来たらいいなあ!!自分も欲しかった!

・あらためて子どもの人権について考えました。子どもの権利第一にシステムを作り直していく道の上であるのだ、ということが良くわかりました。さまざまな分野の連携が重要ですよね。

・子どものことを考えるのに子どもが話し合いの場がないという点が納得しました。弁護士の先生のお話で法律は縛るものではなく守るものというのがとても感動しました。



子どもの居場所 ～WAKUWAKUホーム～

Supported by  THE NIPPON FOUNDATION

NPO法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク
事務局長 天野敬子(精神保健福祉士)



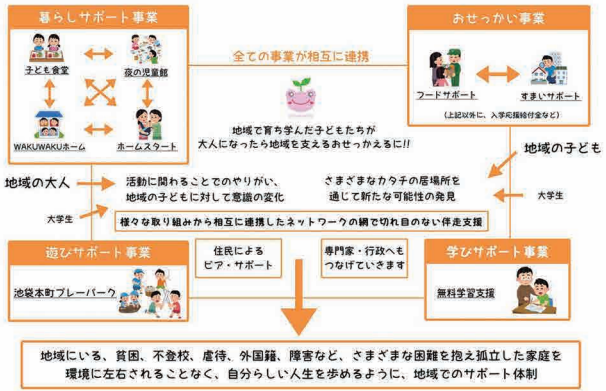
豊島子どもWAKUWAKUネットワーク 地域を変える/子どもが変わる/未来を変える

「子どもの貧困」をテーマに地域の子どもの地域で見守り育てることをコンセプトとして活動する地域住民主体のNPOである。

- ・遊びサポート・・・池袋本町プレーパーク
- ・学びサポート・・・無料学習支援「池袋WAKUWAKU勉強会」
- ・暮らしサポート・・・「要町あさやけ子ども食堂」「ほんちよこ食堂」「椎名町こども食堂」「池袋こども食堂」「ホームスタート・わくわく」「WAKUWAKUホーム」「としまフードサポートPROJECT」「WAKUWAKUすまいサポート」



地域の子どもの地域で見守るための主な取り組み



居場所の点在化

地域と子どもがつながる場

孤立しがちな家庭が地域とつながる場

地域の交流拠点としての可能性



居場所のネットワーク化


○としま子ども学習支援ネットワーク(とこネット)
17団体以上の無料学習支援
社会福祉協議会が事務局

○としま子ども食堂ネットワーク(とこ食ネット)
19カ所の子ども食堂
豊島区子ども若者課が事務局



「居場所づくり」

- ◎地域サロン
- ◎フリースペース
- ◎コミュニティカフェ
- ◎アートのワークショップ
- ◎無料学習支援
- ◎子ども食堂

 泊まれるお家 (親戚のお家)



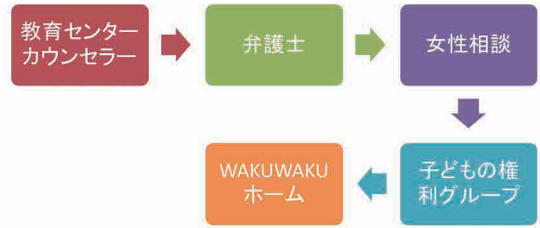


ひとり親家庭の子育ては大変

- ◎急に出張になってしまった。
- ◎緊急入院することになった。
- ◎今日は鬱で食事を作れない。
- ◎これ以上子どもといると叩いてしまいそう。
- ◎家に帰りたくない(子ども) ⇄ 子どもと距離をとりたい(親)



事例 Aさん 高校3年生



Aさんのつづやきより

「私、食事のときに緊張するんです・・・」

「あれ、私背が伸びたのかなあ・・・
見える視点がちがう」



WAKUWAKUホームの必要性

- ◎子どもが安心して泊まれる。
- ◎地域や学校から切り離されない。
- ◎家庭とも行き来ができる。



子どもの居住支援

フォーマルな支援システム

- ◎地域の里親に委託(短期里親、一時保護委託)
- ◎ショートステイ協力家庭

インフォーマルな支援システム

- ◎WAKUWAKUホームのようなお家(親戚のお家)を地域に点在させて、マッチングをする。

「貧困・虐待」の連鎖から「おせっかい」の連鎖へ



Supported by 日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

おわりに

WAKUWAKUホームを始めて5年が経ちました。

1年目2年目の頃から来ていた子どもたち4名が、高校を卒業します。

彼らの成長を傍らで見守れたことはとてもうれしいです。

就職する子、専門学校に進学する子、大学に進学する子、それぞれの道を歩み出します。

いったん、ホームも卒業してもらおうと思っています。

もちろん、「困ったときはいつでも来てね」「たまには顔を見せに来てね」と伝えています。

いつでも帰れる場所があることは大事だと思います。

4名の中から「おせっかえる」が誕生するかもしれません。

2021年の夏休みに上智大学の学生さんがやってきて、ドキュメント映像を作ってくれました。

「ボクのHOME(いばしょ)」と題した作品は、いつものホームの日常を切り取って、

実に上手に仕上げてくださいました。

4名のうちの一人が私に言った言葉「サシュウ(サービス終了)はやめてください」

が心に残っています。


始めた以上は、おとなの都合で、ある日突然閉めることがないようにしたいと思っています。



WAKUWAKUホーム管理人 天野 敬子

※この絵はホームに来る小学3年生の子が描いたものです





みんなが帰ってこられるHOMEになれば
そんな願いを込めて・・・

WAKUWAKUホームは、以下の助成を受けて運営しています

Supported by  日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION



団体名	認定特定非営利活動法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク
住所	〒171-0014 東京都豊島区池袋三丁目52番21号
TEL	050-5526-1229 受付時間:10:00~17:00(土日祝日を除く)
E-mail	info@toshimawakuwaku.com
Webサイト	https://toshimawakuwaku.com